

福岡市バスケットボール協会

【設立年月日】 1961（昭35）年

【加盟年月日】 1962（昭37）年

【歴代会長並びに理事長】

1964（昭39）年～1974（昭49）年

会長 山 中 正 藤

理事長 野 口 嘉 代

1975（昭50）年～1977（昭52）年

会長 西 秀 夫

理事長 福 田 俊 祐

1988（昭63）年～1992（平4）年

会長 福 田 俊 介

理事長 石 川 雄

1993（平5）年～1994（平6）年

会長 大 神 茂 弘

理事長 古 野 久 光

1995（平7）年～現在

会長 山 口 毅

理事長 木 部 正 俊

【設 立】

1923（大12）年にアメリカ人英語教師モアールより福岡県にバスケットボールが紹介され1936（昭11）年秋、福岡箒球クラブが組織されたが1943（昭18）年大戦の為中断。1945（昭20）年終戦の年9月、戦後の激動の中に早くも沖四郎（故人）らにより復活する。福岡市バスケットボール協会は1963（昭38）年福岡市体育協会の発足と共に、初代会長山中正藤（故人）、理事長野口嘉代（故人）によりバスケットボールの普及発展と技術力向上を目的として、当時の福岡県バスケットボール協会中部支部から独立し発足した。

1971（昭46）年福岡市社会人バスケットボール連盟が発足し福岡市体育協会への参画も活発になり、協会組織の再編をなすべく1980（昭55）年規約を改正し部会制を採り入れた。

1982（昭57）年福岡市小学生バスケットボール連盟が別に発足し、現在は福岡市バスケットボール協会としては、社会人（シニア含む）部会、小学

生部会、中学生部会、高等学校部会、審判部会、身障者部会で活動している。

【治 革】

昭和40年頃、当時ローカル大会が開催されていたが、総てトーナメント方式で参加チームも少なかった。その後、福岡市でリーグ戦方式を有志が思い立ち、当時、福岡女子高校バスケット部顧問であった熊本先生の協力を得て、常時メンバーが揃うカネカクラブ、なかよしクラブ、ドジッターズ、三菱電機、九州松下電器、日本タングステン6チームでスタート。福岡市と西日本新聞社の協力を得て昭和46年に第1回福岡市社会人連盟リーグ戦を開催。当初は施設不足に悩み、各高校の体育館を借用しての大会運営だったが「とびうめ国体」を契機に福岡市のスポーツ施設の充実で各区に体育館が整備され会場不足は解消された。

しかしながら、現在では2004（平16）からシニア部門を加えた社会人連盟のチーム数は男女76チーム、1200名以上の選手登録となり、楽しむバスケットをモットーに、春・秋のリーグ戦方式で年間370試合を行う全国でも類のない大きな組織として発展しているが、会場不足は深刻である。



2008年第14回福岡市総合バスケットボール選手権大会
（シニア50歳以上参加者）

福岡市小学生バスケットボール連盟は1982（昭57）年に男女65チームで発足。石川武先生（故人）、木下正信先生、谷友雄先生らを中心に当時の福岡市バスケットボール協会西会長（故人）、福田理事長をはじめ、協会役員の指導により大会運営、指導者講習会、審判講習会などが開催された。

1982（昭57）年に九州大会、1983（昭58）

年には全国ミニバスケットボール大会を福岡市で開催し、今の隆盛の基礎をつくった。

【現在の活動】

国際交流としては社会人チームが1978（昭53）年福岡市青年友好の翼に参加し、マレーシア、シンガポールをはじめとして1995（平7）年には姉妹都市になったバスケットボール本場の米国アトランタまで選手を派遣し国際親善を果たした。これがきっかけになりロスアンゼルス日系四世との交流が始まり、松井団長（現市協会顧問）のもと、中学生男女のチームが4年に1度、既に5回の相互訪問をしている。



2008 福岡 / ロスアンゼルス4世親善試合

1992（平4）年5月に韓国釜山直轄市体育協会と「スポーツに関する合意書」が締結されたのを期に1993（平5）年社会人チームが相互交流大会を行い、その後、釜山廣域市とは中学生が相互交流し、2000（平12）年には初めて小学生チームが来福し親善試合を行った。その後、2005（平17）、2006（平18）年に高校生男子、2007（平19）、2008（平20）年には杉森先生、山田先生の指導で高校生女子チームが友好の輪を広げた。



2008年釜山廣域市親善試合

1996（平8）年からは市民総合スポーツ大会の一環として福岡市総合バスケットボール選手権大会を開催、現在では中学校、高校の170校余のチームが参加する大きな大会となっている。また、生涯スポーツ推進の一環で2004年（平16）から開催している「男子40歳、女子35歳」のシニア部門も年々参加チームが増加し、2010年（平22）には、男女の50歳以上によるオールスターゲームを開催し、華やかさと元気さを与えている。

県民大会では2010（平22）年、第53回大会まで一般男子優勝20回、第10回大会から開催された一般女子28回優勝、青年の部は第12回大会から実施され青年男子10回の優勝、青年女子8回の優勝。全国青年大会では、2007（平19）年56回大会で青年女子が福岡市のチームとして初の全国優勝、2010（平22）年第59回大会では、今村監督率いる青年男子が福岡市のチームとして初の全国優勝を飾った。

2009（平21）年には木部理事長の発案による、全国でも初めての試みである、午後9時からの社会人を中心としたチームによる「ナイトリーグ」の創設が実現し、定着化が図られている。

2003（平15）年山口会長の提唱により福岡市中学生バスケットボール選抜大会（福太郎カップ）が男女32チームの参加のもと始まった。川邊先生らの大会運営のもと、2010（平22）には88チームの参加があり、先生がたの熱い情熱と指導で、大会規模の増大と充実度が年々図られている。

【今後の課題】

この10年で財政面の充実が徐々に計られてきたが、市体協からの補助金が年々減少してゆくなか、社会人連盟の登録料、市民総合スポーツの参加費等だけは思うような活動が出来ないのが現状である。新しい事業を実施するにも財政の裏付けが根底になければ事業の継続はできない。当協会の役員が一丸となって、自主財源の確立と組織体制強化、新規事業の取り組みを、積極的に図っていくことが、今後求められてくる。